

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 7月17日 更新

事務事業名		議会交際運営事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	1	自治の健康			所属部	議会事務局	課長名	九重 浩光
	施 策	2	行政改革の推進			所属課	議会事務局	担当者名	園田 一生
	施策の柱	3	計画的な施策・事業の推進			所属班	議会班	(内線)	1312
予算科目		会計一般	款 1	項 1	目 1	事業連番 11022	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	各種団体との懇談会費等を支出し、市議会と各種団体との円滑な関係を構築している。各種団体等へのお祝等の支出基準については、案内内容を考慮し、市長部局と申し合わせながら支出している。また、全国・九州・県議長会等への議長・局長出席者負担金、各委員会所管事務調査研修の手土産代、他自治体からの議会行政視察茶菓子代などを支出している。
【業務の流れ】	- 各種団体からの行事案内に対する議長の日程調整及び必要なものには交際費を支出する。 - 他市議会からの視察の依頼に対して、関係課との日程等の調整及び当日の研修会の進行、茶菓子の提供を行う。
【主な予算費目】	・交際費、需用費（消耗品費、食糧費）
【意見や要望】	・要望等は寄せられていない。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 各種団体からの行事案内に対する議長の日程調整を行い、市議会議長会等の行事で、議長の会議負担金や出席者負担金等について交際費を支出し、情報収集や意見交換をすることができた。(事務局長の随行を要するものについては、食糧費より負担した。)またコロナ禍が落ち着いてきたこと、半導体企業の集積に伴い他市議会からの視察依頼が増え、視察参加者への茶菓子の提供が増加したこと前年度よりも支出が増加した。(視察受入件数はR4が12件に対してR5は22件)		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 例年とほぼ同じ内容である。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 全国の自治体数	団体	九州市議会議長会理事会出席に伴う、会議負担金の増	
→ イ 市民	人		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
議会(議長)		→ ア 市議会数	団体
		→ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
教育、学術、スポーツ、文化、交通渋滞対策、福祉などの向上に寄与すべく活動している団体や他自治体との円滑な関係を構築する。		→ ア 交際費の支出件数	件
		→ イ 視察受け入れ件数	件
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
市議会と各種団体や他自治体との円滑な関係を構築することを目的として支出しているため設定した。目標値は、毎年支出している件数等を考慮し設定した。			全体計画 ~ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	ア	団体	1,724	1,724	1,724	1,724	1,724	1,724	1,724	1,724	
	イ	人	63,841	64,453	65,500	64,787	65,311	66,650	68,409	69,457	
② 対象指標	ア	団体	815	815	815	815	815	815	815	815	
	イ										
③ 成果指標	ア	件	10	9	35	30	35	35	35	35	
	イ	件	4	12	6	22	10	10	10	10	
投資 事業 入費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	69	187	436	427	495	466	466	466
	(A) 事業費計	(A)のうち指定経費	千円	69	187	436	427	495	466	466	466
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	4	3	4	3	3	3	3
	人 件 費	延べ業務時間	時間	260	750	270	950	270	270	270	0
		(B)人件費計	千円	1,016	2,854	1,075	3,459	1,075	1,075	1,075	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	1,085	3,041	1,511	3,886	1,570	1,541	1,541	466

事務事業名	議会交際運営事業	所属部	議会事務局	所属課	議会事務局
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒ 【理由】
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり ⇒ 【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】 支出基準を市長部局と申し合わせ、また案内の内容等を十分検討して支出しており、今後も適切に処理していくため、達成見込みはついている。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒ 【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒ 【理由】 案内行事等への積極的な参加。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 他に手段がない ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 他に類似する事業がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒ 【理由】 社会通念上、必要と思われる最小限度の支出で、儀礼的にも支払うべきと思われるが、より明確な支出基準の作成が必要。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】 アウトソーシングにはなじまない事業であるため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒ 【理由】 各種団体からの行事案内に対して、市長部局と調整を行い公平公正に出席ないし支出している。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒ 【理由】 行政が担う業務であるため、移行できない。

3 評価結果の総括（CHECK）

支出基準の作成は行っていないが、市長部局との調整や内容の精査により適切に支出している。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								